

拠点化を図る対策案の比較
(意見の整理)

拠点性の高い小児科に求められる機能：平日夕方の遅い時間帯や土曜日の午後などにおける受け入れなど、柔軟な対応が可能であること

	医療の継続的な提供	医療提供体制	アクセス	その他
こども病院跡地に小児科を新設する案	<ul style="list-style-type: none"> 現建物の解体、地元との協議を終えた上で新病院の建築となるので、病院移転後、少なくとも2年ないし3年はかかると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外の小児2次救急医療に対応するためには、小児科医だけではなく、検査技師、放射線技師などもそろえなければいけないが、今は、そういった医療者をそろえるのが難しくなりつつある。 		<ul style="list-style-type: none"> こども病院跡地に代替医療施設をつくるというのは、お金がかかるし、更に小児科医を分散させてしまうことになる。
その他の事実関係		<ul style="list-style-type: none"> 小児科の新設となるので、新たに確保した医師の人数がそのまま新たな小児科の体制となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 西公園ランプから約1.0km。百道ランプから約1.2km。 百道ランプからの所要時間は約5分(車)。 地下鉄唐人町駅から約0.4km。 唐人町バス停から約0.4km。 	
新浜の町病院で小児科の体制を強化する案		<ul style="list-style-type: none"> 病院の規模が一定レベル以上であれば、既に検査技師、放射線技師などがそろっており、時間外対応ができる体制となっている。 <p>【参考：一般病床数 468床】</p>		
その他の事実関係	<ul style="list-style-type: none"> こども病院が移転するとき(H26.11月)には、既に新浜の町病院は開院している(H25.10月頃)。 	<ul style="list-style-type: none"> 既に3名の小児科医がおり、新たに確保した人数分はその体制に上乘せとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 天神北ランプから約0.2km。 百道ランプから都市高速を経由した場合の所要時間は約5分(車)。 地下鉄天神駅から約0.7km。 福祉センター前バス停から約0.2km。 	

※上記に記載している項目(「その他の事実関係」を除く)は、これまで協議会で出された意見を整理したもの

※ランプ、地下鉄の駅からの距離は2点間直線距離を測定(Mapionホームページを利用)

※車での所要時間はGoogleマップで確認